

# 協働通信

本市には、市民活動支援の一環として『市民委員会制度』があります。この制度は、1年間『市民委員会』として活動をしていただく中で、まちづくりの様々な分野の課題を探り、市民と行政がどのような関わっていくべきか、市民の方から提言をいただく制度です。今回は本年度認定された2団体の中から『都留アルプス会』をご紹介します。

## 都留アルプスの魅力を教えてください

都留市駅の近くから古渡の住吉神社まで行く『がつりコース』が一番長いのですが、途中にいくつも下山場所があり、変化に富んだコースで各所の眺望ポイントを楽しめるところが魅力です。四季の風景も美しいですし、烽火台跡



■パノラマ展望台からの眺め  
田原周辺を見渡せるパノラマ展望台。富士山に向かって道が真っ直ぐ伸びており、開けた景色を一望できるスポットです。

▽都留市まちづくり市民活動支援センター  
都留市中央3-8-1  
都留市まちづくり交流センター  
▽開館  
火～日(祝日除)  
8:30～17:15  
▽問い合わせ先  
mail: shien@city.tsuru.yamanashi.jp  
☎(43)1321  
FAX(43)1322

など歴史を感じられるスポットもあります。植物の分布も豊富ですし、非常に魅力の多い登山コースです。

## 都留アルプスは、市内でも有名な観光スポットになりましたが、活動を始めた当初はいかがでしたか？

元々登山道はあったのですが、人の手が入らなかつたことで荒廃し、倒木もたくさんありました。都留の山を魅力的な観光資源として再生するため、本当に『二から始めた』という感じですね。登山道を塞いでいる倒木をどかしたり、眺望ポイントの木を伐採して整備したりということから始めて、がけ崩れしている箇所は階段も整備しました。一番大変だったのは、『道標』の看板作成でしたね。



■道標の設置作業  
道標は、登山者の命綱。間違ったルートになっていないか、コースマップを何回も確認している。

自分たちでペンキを塗って、担いで山に設置しに行って、全体で50本以上になりました。植物の紹介看板も設置したので、今では安心して楽しく登れる山に生まれ変わりましたよ。

## 登山者などから反響はありましたか？

11月26日(日)に開催したハイキングイベントの参加者からお手紙をいただきました。後は、ネットでかなり評判になっていますね。「都留アルプスってなんていい名前なんだろう」という投稿もあって、嬉しいです。新聞などのメディアに掲載されたこともあって、県外の登山客にも知ってもらえたので、日本国内でも有名な『アルプス』にしたいと思っています。



■ハイキングイベントのようす  
約250名が参加し、半分近くが東京など県外からの参加者。山岳関係の雑誌に掲載されたことで知名度も上がったそう。

## 今後、都留アルプスをどんな風に盛り上げていきたいですか？

まだまだこれからですね。懸命に続けてきた整備活動が実を結び、都留アルプスは大事な都留市の観光資源になりました。

今後市の財産として有効活用してもらえらるよう、私たちはメンテナンスを続けていきます。ただ自然相手ですから、『開発しすぎていけない』ということが大事ですね。歩きやすくするためにコンクリートや人工物の石段を作ってしまうと、雰囲気も壊れてしまいます。豊かな自然を感じながら気持ちよく楽しんでもらえるよう、これからも市と協力して都留アルプスを盛り上げていきたいです。

## 地域のお知らせ

### 谷村地域

### 夢実現ひろば「健康体操と歌」

体を動かして身も心もリフレッシュ！

日時 2月22日(木)13時30分～15時30分

場所 まちづくり交流センター4階

持ち物 タオル

その他 体を動かしやすい服装で参加してください

### 谷村協働「悠久のインカ古道を歩く」講演会

古代インカ文明とマチュピチュ

日時 2月24日(土)13時30分～16時

場所 まちづくり交流センター4階

講師 夢実現ひろば 藤本紘一さん

共通問合せ先 まちづくり交流センター

☎(43)1321